

深い緑に包まれた名主屋敷を中心に、田島図書一族郎党400年の史跡が今も残る椿っ原(現春江町)を歩く。 4.6km



⑥ 椿天祖神社

元和2年(1616)三十番神社と称して創建した。本堂西のケヤキが見事。



④ 椎橋家(田島図書家の番頭)

田島図書の家老格で屋号が番頭。庭のムクロジは大木としては区内2本のみ、冬にたくさんの実をつけ、羽子板の羽の材料となった。



③ 椿八幡宮(名主屋敷の午=南)

17世紀から続く古社だが、平成27年古い社を新しく改築。



② 大雲寺(役者寺)

歌舞伎役者の墓地が多いので役者寺と呼ばれる。3月に咲く枝垂れ桜も美しい。



① 豊田神社

樹齢200年を超えるケヤキがそびえる。



⑧ 春江の森公園

白梅42本と紅梅4本が2月の空を彩る。



⑦ 本高山城立寺(松並木の参道と山門)

田島図書は開基檀頭として「正善院日慶」と号し、寛永20年(1643)12月25日に没しました。田島家の菩提寺となった。



城立寺田島図書家墓地

釈迦仏座像は、東京六大石仏の一つ。図書家三代八郎兵衛尉重信の寄進。



名主屋敷西庭の竹林



名主屋敷展示室展示品



⑤ 一之江名主屋敷(敷地内戌亥=北東に田島稲荷)

400年前、田島(堀田)図書は椿っ原(一之江新田)を開拓し、元禄~明治時代まで何度も名主を務めた。現在の屋敷は、18世紀後半に改築された。名主屋敷を中心に一族郎党の家々が現在も残る。